



平成29年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年9月14日

上場会社名 サンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4592 URL www.sanbio.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 敬太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 角谷 芳広 TEL 03 (6264) 3481
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年1月期第2四半期の連結業績（平成28年2月1日～平成28年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第2四半期	684	66.4	△610	—	△1,228	—	△1,145	—
28年1月期第2四半期	411	—	△555	—	△532	—	△440	—

(注) 包括利益 29年1月期第2四半期 △1,106百万円 (—%) 28年1月期第2四半期 △431百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第2四半期	△25.60	—
28年1月期第2四半期	△10.32	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第2四半期	6,711	5,336	79.4	118.72
28年1月期	8,271	6,366	77.0	142.66

(参考) 自己資本 29年1月期第2四半期 5,331百万円 28年1月期 6,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年1月期	—	0.00	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年1月期の連結業績予想（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	886	△24.6	△3,814	—	△3,830	—	△3,641	—	△81.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年1月期2Q	44,907,491株	28年1月期	44,621,741株
② 期末自己株式数	29年1月期2Q	84株	28年1月期	16株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年1月期2Q	44,733,516株	28年1月期2Q	42,634,016株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年2月1日～平成28年7月31日)におけるわが国経済は、企業収益及び雇用環境が引き続き底堅く推移する一方、ここ直近での円高・株安を受けて景況感に先行き不透明感も増しています。米国においては、雇用環境の改善が個人消費の拡大をけん引するなど景気の回復が継続しました。

再生医療業界においては、平成26年11月に施行された再生医療安全性確保法及び改正薬事法によって、日本における再生医療の産業促進化が進むなか、平成27年9月には、新制度の早期承認制度下で、初めて国内の再生医療等製品に対する条件・期限付き販売承認が実現するなど、再生医療等製品の実用化が現実となりつつあります。

このような環境のもと、当社グループ(以下、当社及び連結子会社SanBio, Inc.(米国カリフォルニア州マウンテンビュー市)の2社を指します。)は、当社グループ独自の再生細胞薬SB623の事業化に向け、日米を中心に開発を進めています。

当第2四半期連結累計期間においては、まず米国で、平成28年3月にSB623慢性期脳梗塞プログラムの第2b相臨床試験(被験者156人規模)で最初の被験者の組み入れが行われ、その後平成28年7月にはSB623慢性期外傷性脳損傷プログラムの第2相臨床試験(被験者52人規模)でも最初の被験者の組み入れが実施され、現在米国では2つの開発プログラムで順次被験者の組み入れが進められています。また、日本においては平成28年3月7日付で日本での慢性期外傷性脳損傷を対象とした治験届を独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に提出し、30日の審査期間を経て、国内臨床試験の実施が可能となりました。これら日米の慢性期外傷性脳損傷プログラムは、現在グローバル治験という枠組みで臨床試験を行っており、今後日米で合計52人の被験者を組み入れていく予定です。また、平成28年6月には、American Heart Association(米国心臓協会)発刊の専門誌STROKEに、SB623慢性期脳梗塞プログラム第1/2a相臨床試験での投与患者の術後12ヵ月経過時の結果が論文掲載され、同月サンフランシスコで開催された国際幹細胞学会(ISSCR)においても同試験の結果が発表されました。

なお、特許については、平成28年5月に、SB623の網膜変性疾患用途特許を米国特許商標局(USPTO)から取得(米国特許番号No. 9, 326, 999 B2)しました。

このような状況のなか、北米において大日本住友製薬株式会社と締結しているSB623の共同開発及びライセンス契約により、米国の慢性期脳梗塞第2b相臨床試験における最初の被験者の組み入れにより受領したマイルストーン収入5百万米ドル及び開発協力金収入等の収入により、当第2四半期連結累計期間の事業収益は684百万円(前年同期は事業収益411百万円)、営業損失は610百万円(前年同期は営業損失555百万円)となりました。また、支払利息6百万円、為替差損583百万円を計上したことにより、経常損失は1,228百万円(前年同期は経常損失532百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,145百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失440百万円)となりました。

なお、当社グループは他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、6,623百万円(前連結会計年度末は8,191百万円)となり、前連結会計年度末に比べて1,568百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が1,514百万円減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、88百万円(前連結会計年度末は79百万円)となり、前連結会計年度末に比べて8百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が7百万円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、994百万円(前連結会計年度末は1,419百万円)となり、前連結会計年度末に比べて424百万円減少いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金400百万円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、379百万円(前連結会計年度末は484百万円)となり、前連結会計年度末に比べて105百万円減少いたしました。これは、繰延税金負債が105百万円減少したことが要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産残高は、5,336百万円(前連結会計年度末は6,366百万円)となり、前連結会計年度末に比べて1,029百万円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失1,145百万円を計上したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、5,905百万円(前連結会計年度末は6,887百万円)となり、前連結会計年度末に比べて982百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は633百万円(前年同四半期は705百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失1,228百万円の計上及び為替差損510百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は455百万円(前年同四半期は44百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入483百万円、有形固定資産の取得による支出30百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は357百万円(前年同四半期は7,391百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出400百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入72百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月16日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,733,892	6,219,398
その他	457,599	403,741
流動資産合計	8,191,492	6,623,140
固定資産		
有形固定資産	67,974	75,880
無形固定資産	207	142
投資その他の資産	11,342	12,133
固定資産合計	79,524	88,156
資産合計	8,271,017	6,711,296
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	800,000	400,000
賞与引当金	20,994	40,875
繰延税金負債	184,931	159,762
その他	313,651	294,241
流動負債合計	1,419,577	994,879
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
繰延税金負債	184,931	79,881
固定負債合計	484,931	379,881
負債合計	1,904,508	1,374,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,806,973	3,843,310
資本剰余金	7,518,415	7,554,753
利益剰余金	△4,978,932	△6,124,308
自己株式	△28	△146
株主資本合計	6,346,428	5,273,608
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,362	57,990
その他の包括利益累計額合計	19,362	57,990
新株予約権	718	4,937
純資産合計	6,366,509	5,336,535
負債純資産合計	8,271,017	6,711,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
事業収益	411,253	684,336
事業費用		
研究開発費	685,162	944,956
その他の販売費及び一般管理費	281,768	349,784
事業費用合計	966,931	1,294,740
営業損失(△)	△555,677	△610,404
営業外収益		
受取利息	241	1,920
為替差益	83,156	—
その他	27	142
営業外収益合計	83,425	2,063
営業外費用		
支払利息	8,960	6,691
為替差損	—	583,251
株式交付費	32,446	—
上場関連費用	18,356	—
資金調達費用	—	30,000
営業外費用合計	59,762	619,942
経常損失(△)	△532,015	△1,228,283
特別損失		
固定資産除却損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△532,016	△1,228,283
法人税、住民税及び事業税	580	798
法人税等調整額	△92,595	△83,706
法人税等合計	△92,014	△82,907
四半期純損失(△)	△440,002	△1,145,376
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△440,002	△1,145,376

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
四半期純損失(△)	△440,002	△1,145,376
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,222	38,628
その他の包括利益合計	8,222	38,628
四半期包括利益	△431,779	△1,106,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△431,779	△1,106,747
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△532,016	△1,228,283
減価償却費	5,853	9,427
株式報酬費用	—	4,410
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,278	23,188
受取利息	△241	△1,920
支払利息	8,960	6,691
為替差損益(△は益)	△84,384	510,598
株式交付費	32,446	—
資金調達費用	—	30,000
固定資産除却損	1	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	△2,977
前渡金の増減額(△は増加)	△327,677	17,719
未払金の増減額(△は減少)	218,271	△68,003
未払費用の増減額(△は減少)	△16,578	74,095
前受金の増減額(△は減少)	—	9,998
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	7,960	△5,898
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△176	△15,815
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△370	8,114
その他	—	440
小計	△696,230	△628,214
利息の受取額	115	2,005
利息の支払額	△8,981	△6,077
法人税等の支払額	△265	△1,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	△705,361	△633,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△690
定期預金の払戻による収入	—	483,480
有形固定資産の取得による支出	△39,072	△30,355
有形固定資産の売却による収入	—	2,735
無形固定資産の取得による支出	△258	—
敷金の差入による支出	△5,587	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,918	455,169
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△400,000
資金調達費用の支払による支出	—	△30,000
株式の発行による収入	7,327,553	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	63,527	72,482
自己株式の取得による支出	△28	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,391,053	△357,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	91,749	△446,177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,732,522	△982,334
現金及び現金同等物の期首残高	1,228,551	6,887,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,961,074	5,905,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。